

<パブリック・スクール関連書籍>

映画で読み解く
イギリスの名門校
パブリック・スクール
エリートを育てる思想・教育・マナー
秦由美子



入学希望者が殺到！
名門校であり続ける理由

映画で読み解く
イギリスの名門校
エリートを育てる思想・教育・マナー

秦由美子/著

イギリスで多くの生徒が入学を望むパブリック・スクール。中でも「ザ・ナイン」と呼ばれる9校は、オックスフォード大学やケンブリッジ大学をはじめとする名門大学に、毎年多くの生徒を送り出している。人気は今や海をも渡り、世界各地でパブリック・スクールの分校が開学。2014年に37校だった海外キャンパスは2024年には100校以上にまで増え、

日本でもすでに3つの分校が開学している。高額な学費にもかかわらず、なぜパブリック・スクールはこんなにも世界から熱望されるのか。その秘密を、長年イギリスの学校教育を研究してきた著者が、7つの映画作品を切り口として多角的に探っていく。



2024年12月18日発売

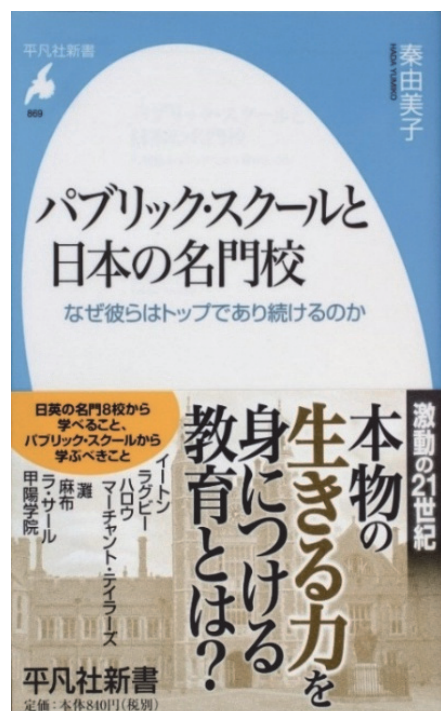
ISBN 978-4-334-10510-5

定価：1,034円（税込み）光文社新書

『パブリック・スクールと日本の名門校 — なぜ彼らはトップであり続けるのか』

◆著者◆ 秦由美子（はだ・ゆみこ）

教育学者。大阪市生まれ。アメリカ大使館に勤務後、オックスフォード大学で修士号、東京大学で博士号（教育学）を取得。専門はイギリスと日本の教育の比較研究。大阪大学准教授、広島大学教授、同志社女子大学・英語英文学科教授などを経て、現在ビューティ&ウェルネス専門職大学・教授。著書に『変わりゆくイギリスの大学』（学文社）、『女性へ贈る7つのメッセージ』（晃洋書房）、『イギリスの大学—対位線の転位による質的転換』（東信堂）、編著に『新時代を切り拓く大学評価——日本とイギリス』（東信堂）、*Cross-Cultural Studies – Newest Developments in Japan and the UK* (World Scientific) など。



ISBN 978-4-582-85869-3

定価 924円 本体 840円+税）平凡社新書